

雪やなぎ

令和5年3月発行

104号



理念

一人ひとりの立場で考え、
共に生きる豊かな社会を目指す

基本指針

- ・利用者に対して「サービスの質の向上」をはかります。
- ・地域社会に対して「地域包括ケア」の中心的な役割を担います。
- ・福祉専門職員として資質向上をはかります。
- ・透明性のある組織体制を強化します。



発行／社会福祉法人大野福祉会

発行責任者 柴山佳樹

〒912-0061 大野市篠座17-23
TEL(0779)66-3320 FAX(0779)66-3319
<https://www.oonofukushikai.jp/>





ごあいさつ

大野荘施設長

地域の皆様をはじめ、職員及び法人関係者の皆様のおかげをもちまして新年を迎えることができましたこと心より感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は発生して3年が経過しましたが、未だ収束が見通せず感染者の増減が続いております。

当施設においては、昨年末に感染が広がり、利用者約40数名と職員10名が次々に罹患し、症状の重い2名の方が入院治療になりました。約1か月間のゾーニング対応や感染防止対策を行いながら利用者支援にあたり何とか収束することができました。今回の感染では職員が多く感染したことや年末年始だったこともあり、職員の確保に大変苦労しました。支援に当たった職員には深く感謝を申し上げます。

集団生活である施設では感染が広がりやすく、ちょっとした対応の遅れが感染拡大を招いてしまいます。5月にはインフルエンザと同じ扱いになるといいますが、今回の感染対応について検証を行い、今後の感染予防対策に生かしていきたいと思っております。

さて、当施設の様子は長期利用による高齢化が進んでいます。平均年齢も69歳を超え、介護支援業務も増えています。そういう中で、平成30年度より施設整備事業を進め、高齢利用者にやさしい環境を目指し居室のバリアフリー化を行ってきました。また、昨年には「かえで寮」の増設と特浴設備を完備した浴室の新設をしました。そして今年度には、厨房・食堂の改修工事が完了し、明るい雰

柴山佳樹

囲気の中で安全安心な適温給食の提供ができるようになりました。施設生活の中で、毎日の食事は一番の楽しみであり、さらに喜ばれる食事提供にも心掛けていきたいと思えます。

一方で、入所利用者の支援を行う職員の高齢化や人材の不足が問題となつていきます。超高齢化社会を迎え、労働人口が減少する中、人材の確保は大変難しくなっています。

当法人では、新規雇用が難しくなる中、65歳への定年延長や嘱託や臨時職員の雇用継続を行い、働きやすい職場環境への改善も行ってきました。また、ホームページのリニューアルを行ったほか、CM・PR動画の作成を行い、法人の認知度アップを図ってきました。今後も継続して取り組みを行っていききたいと思えます。

また、学校や地域とのつながりも大切であると思えます。これまでもコロナ禍でできなかった交流事業等を開催し、施設という福祉の現場を理解してもらえよう努力していきたいと思えます。

昨年、短期的な人材確保として調理業務を行う技能実習生3名の受け入れを行いました。当初は言葉や生活習慣の違いを心配していましたが、6カ月が経過して、今では挨拶もしっかりでき、仕事に一生懸命取り組む頼もしい存在になっています。

施設を取り巻く状況は大きく変化しております。必要とするサービスが提供できるよう社会情勢を注視しながら施設運営にあたっていききたいと思えます。

今後とも皆様方のご支援をよろしくお願い致します。

大野荘厨房食堂改修



令和4年8月より行ってきた改修工事は、11月17日に完成しました。見てください！明るくレストランのような食堂になりました。今では、広々とした食堂でゆっくりと食べていただくことができます。

厨房は、新しい機器類に一新され、衛生面もこれまで以上によくなりました。

工事期間中は仮設厨房での食事提供となり利用者の皆様には我慢していただくことが多かったと思います。

8月からは3名の技能実習生が調理員として仲間入りしました。これからますます楽しみにしていただけの食事を提供していきたいと張り切っています。



大野荘

ここでまり班



長年に渡り、マイクロバスで10分ほどの作業場へ通っていましたが、利用者の方の高齢化に伴い、施設で生活されている利用者の皆さんの移動等における負担軽減とそれに合わせた作業内容の見直しを目的として、令和4年12月より作業場所を大野荘の敷地内に移動しました。

作業場所の確保や環境整備など、まだまだ検討課題はありますが、利用者の皆さんが作業しやすい環境を少しでも早く整えていけるようにしていきたいと考えています。また、施設生活の中で、作業をする生きがいや楽しみを持ってもらえるような工夫も重ねて行なっていきたいと思っています。



技能実習生の紹介

タムさん センさん
ミンさん

令和4年8月から大野荘の厨房で技能実習生（母国はベトナム）として頑張っています。とってもピュアでかわいい3人です。温かく見守っていただけたら嬉しいです。

自己紹介や目標等、いくつか質問をさせていただきました

- ①自己紹介をしてください。②うれしかった言葉や出来事は何ですか。③一番最初に覚えた日本語は何ですか。④お休みの日は何をしていますか。⑤最後に夢（目標）を教えてください。

グエン ティ タム



- ①24歳です。ベトナムから来ました
- ②日本語が話せるようになり、仕事が終わってきたことです
- ③あいさつで「おはよう」です
- ④スーパーへ行ったり、料理を作ったり、ドラマを見たり、日本語を勉強したりしています
- ⑤ベトナムへ帰り洋服屋を開きたいです

グエン ティ セン



- ①今年29歳です。ベトナムから来ました
- ②みんなで働くこと、新しい言葉を勉強することです
- ③「おはようございます」「おつかれさまです」「こんにちわ」
- ④ハウスクリーニングやスーパーへ行ったりします
- ⑤日本人の生活と仕事を勉強したいです

グエン ティ フェン ミン



- ①今年で22歳です。ベトナムから来ました
- ②毎日働くことが幸せです。祖父母に食べ物をあげたり、祖父母が喜んでくれることです
- ③「こんにちわ」「こんばんわ」「おはようございます」
- ④買い物に行ったり、写真を撮ったり、音楽を聴いたりしています
- ⑤夢は日本の文化と生活様式を学ぶために旅行をすることです

MERRY CHRISTMAS

クリスマス会



大野荘



メリークリスマス♪

大野荘では12月8日にクリスマス会を開催しました。昨年に引き続き職員による出し物を行いました。笑いあり、ダンスありの寸劇を行い、利用者の皆さんの笑い声が体育館に響き渡っていました。又、今年もサンタさんが、各居室までそりに乗りプレゼントを配ってくれました。利用者の方からは笑顔で「ありがとう！」の言葉を頂きとても喜んでいただけました。最後にコロナ感染症の終息を願い、楽しい行事が再開できるよう利用者の皆さんと一緒に頑張っていきたいと思えます。



むつみ園



12月13日にむつみ園のクリスマス会を開催しました。

今年は、利用者の方から希望のあった「カエルのみどりちゃん」のダンスを利用者2名、職員4名で披露しました。練習期間は2週間弱と短かったのですが、時間を見つけて沢山練習出来ました。本番前にはとても緊張されていましたが、本番になると堂々と笑顔で披露することができ、他の利用者の皆さんにも楽しんでいただけたと思います。

また司会進行を自治会役員メンバーに務めてもらいましたがとても堂々としており職員も驚くほどでした。

その後クリスマスソングを聴きながらプリンアラモードを食べるクリスマス気分を味わいました。



むつみ園

キッチンカー



来
ま
し
た
♡

Kitchen Car



11月12日にむつみ園にキッチンカーが来ました。自治会役員と一緒に企画して実現したイベントです。天候の心配をしていましたが、当日は天気も良く、暖かかったこともあり外で実施する事ができました。コロナ禍で外食することを自粛していたこともあり、利用者の皆さんはとても楽しみにされていました。それぞれ思い思いのドリンクを注文して、クレープと一緒に軽食を楽しみました。「また来て欲しい!」との声も多く、好評でした。次年度も利用者の皆さんと一緒に楽しめるイベントを企画したいと思います。

バスドライブ



今年度も保護者同伴旅行を実施する事ができませんでしたが、利用者の皆さんに少しでも旅行気分を味わっていただくとうと10月4日と14日の2日間、観光バスを貸し切りバスドライブを計画しました。観光バスを見て「バス、バス。」と、とても興奮されている方もいらっしゃいました。2日も車の中からではありませんでしたが、恐竜博物館や野向のコスモス、勝山大仏、勝山城、道の駅大野の郷を巡りました。
久しぶりの外出であり、利用者の皆さんはとても満足そうにされておりました。今後も利用者の皆さんが楽しんでいただけるような行事を企画していきたいと思えます。

グループホームの新体制

5つの事業所として運営してきたグループホームですが、令和4年10月よりこれまでの「ひまわり」「かささぎ」をグループホーム1に、「たんぽぽ」「うぐいす」をグループホーム2として2事業所に再編成しました。「さわらび」の廃止により「たんぽぽ」に引越してきた人達も、最初こそ緊張されていましたが、今では新しいホームに溶け込み、今までよりも笑いの絶えないホームになっています。



また、再編に合わせてアパートでの念願の一人暮らしをスタートした方もおられます。お部屋を訪ねると今でも思い出話に花が咲きます。グループホームでは、地域で利用者の皆さんが願う暮らしをサポートしています。新たな運営体制を機に、利用者の皆さんが「ホームで暮らしてよかった」と感じて頂けるホームを目指し、これまで以上に心を込めて取り組んでいきたいと思っております。



秋の叙勲、褒章

叙勲というこのような荣誉ある賞を受章することができました。とに心から感謝いたしております。先輩方をはじめたくさんの人たちから多くのことを教わり、様々な経験させてもらいました。今自分があるのは、その人たちのおかげだと思います。

今後、この荣誉に恥じぬよう精進してまいりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。この度は、本当にありがとうございます。

令和4年秋の叙勲で、障害者支援施設 むつみ園 前田早苗職員が、瑞宝双光章を受章いたしました。

社会福祉への長年の功労が称えられました。

〈受章の御礼〉
むつみ園支援員
前田 早苗



明石真由美さん
アールブリュット展
大賞受賞!



南山さん
アールブリュット展
入賞!



Q 写真のテーマはなんですか?
A 早くコロナがゼロになって、散歩、買い物、旅行と出掛けたい気持ちを表しました。
Q 大賞を受賞してどのような気持ちですか?
A 賞をもらったのが生まれて初めてなので、とってもとっても私は嬉しい気持ちでいっぱいです。賞を取れたのもカメラを買ってくれたり、アドバイスをしてくれた職員のみなさんのおかげです。本当にありがとうございました。

編集後記

最後に、わが法人でもコロナ第8波でクラスターが発生しました。その為通常の期日より遅い発刊になりました。皆様も健康にご留意され、明るく楽しくそして幸多き一年になりますことを祈念申し上げます。

早いもので新型コロナ感染症の終息が見えず本年で4年目になります。行動制限も大幅に緩和され、まさにウイズコロナが当たり前の時代になりましたが、入所されている利用者様には相変わらずの外出自粛を継続しています。いつになればマスク無しで会話ができるのか? コロナが始まった頃に小学校に入学した児童はもう4年生になります。中学生や高校生は制限のある行事で青春の甘さを感じるのでしょうか?

本年の、干支は「卯」です。うさぎは跳躍する姿から「飛躍」・「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。本年も新型コロナはまだ当面収まらないと思われれますが、去年末のワールド杯のような明るいニュースが本年の干支にちなんで新たな芽吹きを促し、開花して大きな飛躍をもたらしてくれる一年になるのではないかと期待をしております。

福祉避難所機材を整備しました。

大野市より貸与された資機材を利用して訓練を実施しました。大野市で災害が発生し、福祉避難所の開設依頼を受けたことを想定し、要配慮者の対応訓練を行いました。

- スケットイレ
- パーソナルテント
- シュラフ
- 簡易間仕切り 暖ボール畳

